

2月の衛研検査情報

～トピックス～

魚介類中の動物用医薬品検査結果（その2）

平成24年11月に食品専門監視班が収去した、市内に流通する魚介類10検体の検査を行いました。

主な結果 抗生物質（テトラサイクリン系、クロラムフェニコール）及び合成抗菌剤（ニトロフラン類、エンロフロキサシン等）計35項目の検査を行ったところ、すべて不検出でした。

年末食品一斉収去検査

食品流通量が増加する年末の食中毒の発生防止及び食品の衛生確保のため、収去検査を行いました。

主な結果 細菌検査：99検体346項目中、規格基準違反はなく、衛生規範不適が6検体ありました。理化学検査：192検体2,639項目の検査を行い、いずれも食品衛生法に適合していました。

平成24年度 食品の食中毒菌汚染実態調査

腸管出血性大腸菌、サルモネラ属菌、カンピロバクター、大腸菌について、調査を行いました。

主な結果 食肉110検体中、サルモネラ属菌（11検体）及びカンピロバクター・ジェジュニ（13検体）が検出されました。また、腸管出血性大腸菌及び大腸菌は検出されませんでした。

鶏肉中の動物用医薬品検査結果

平成24年8月に食品専門監視班が収去した、市内に流通する鶏肉の筋肉10件の検査を行いました。

主な結果 動物用医薬品の合成抗菌剤28項目及び内寄生虫用剤1項目の検査を行ったところ、いずれの項目も不検出でした。

衛生研究所WEBページ情報

衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品／生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成24年12月は、インフルエンザワクチン、ヒトパピローマウイルス（HPV）と子宮頸癌等、マイコプラズマ肺炎に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は191,637件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。